

# 農村体験型ツーリズム推進のための青少年教育プログラム構築 (2021年～2023年)

## 地域の若者による体験型ツーリズムの推進

- 実施団体：  
公立大学法人山梨県立大学
- 対象国・地域：  
ベトナム社会主義共和国
- 現地カウンターパート  
ベトナム中央青年団



- 協力内容：
  - ・ランソン省バクソン郡バククインコミュニティの農山村体験ツーリズムが形成される。
  - ・体験型ツーリズム推進のための青年団及び教育機関の行動計画が策定される。
  - ・ベトナムと日本の地域課題解決に向けた観光教育プログラムが共有される。

### ■ 団体のこれまでの取り組み：

- ・JICA青年研修ベトナム「地域における観光振興」コース（2018年度実施）に、本事業のプロジェクトマネージャーが講師を務めた。同コース研修生が考案したアクションプランを土台に本プロジェクトを考案。
- ・2019年にハノイ市にて関係者との協議、またプロジェクト対象地のランソン省を訪問し実地調査を実施。これらを通じてプロジェクト計画を策定した。

### ■ 事業実施の背景：

- ・ベトナムは、2018年に外国人観光客 1,500万人、国内観光客 8,000万人を超え、各地で観光による地域振興に期待が高まっている。一方、働き口を求めて若者が地方部から都市部に流出し、これらの観光産業を含めた地域の担い手が不足している。

## ベトナム国の課題と成果

- 課題①** 観光資源はあるものの、日中の滞在中のプログラムがないため、観光客の滞在が限られる
- 成果①** 青少年により複数の観光資源を使ったツアーが実行できるようになった

- 課題②** 活動を行うための専門知識や経験が不足し、観光にかかる人材育成の仕組みが整っていない。
- 成果②** 観光教育ガイドブックを作成し、青年団の人材育成に使われていくこととなった。また教育課程に郷土教育の科目が導入され、地域の歴史、文化、伝統などを座学で学ぶようになったことを受け、ランソン省青年団が実施する観光教育は、この郷土教育を基礎とし、地域資源の活用や観光PR等、実践的な地域での学びを提供することとなった。

## 事業の波及効果



### 対象地域を超えた事業の広がり

- ・本邦研修にプロジェクトから招聘した3名に加えて、対象地域外からベトナム側の独自予算で7名の参加があった。また成果報告会には、中央青年団、ランソン省青年団、事業対象地域の人民委員会の他、ラオカイ省、バクカン省、タイグエン省、バリアブントウ省の青年団など合計60人以上が参加し、青少年が実施するツアーの作り方等を学び合うことができた。